

# 日之影神楽 来臨

## 國學院大學における宮崎県の神楽公演

宮崎県内の200を超える地域に古くから大切に伝承される「神楽」がある。里に息づく「神楽」は、その地の暮らしとともにあり、周囲の自然にも影響を受けながら土地の守り神とともに各地独自の個性をもち、多様な姿を形成してきた。豊かな自然の中で育まれた日之影神楽の息づかいを感じてください。

### 第一部 講演

13:05~  
ヒムカ神話とアマテラス

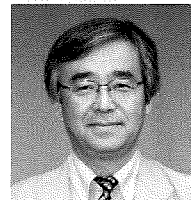
宮崎県立看護大学教授  
大館 真晴



1972年、宮崎県都城市生まれ。國學院大學大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期修了、博士(文学)。専門は上代文学。奈良県立万葉文化館研究協力員。古事記学会理事、上代文学会理事、風土記研究会編集員、宮崎県みやざきの神楽魅力発信委員会委員、神楽保存・継承実行委員会副委員長。主な業績『日本書紀の作品論的研究—人物造形のあり方を中心に—』(國學院大學大学院研究叢書)、『日本書紀【歌】全注釈』(共著、笠間書院)。

13:35~  
神楽と岩戸神話

國學院大學教授  
小川 直之



1953年、神奈川県生まれ。國學院大學文学部文学科卒業。「民俗学」を専門。文部科学省文化審議会専門委員、無形文化遺産保護条約に関する特別委員会委員などを歴任。現在は、宮崎県の「みやざきの神楽魅力発信委員会」委員長、「神楽保存・継承実行委員会」委員長として、みやざきの神楽の保存継承や魅力発信にも尽力している。その他、独立行政法人日本芸術文化振興会の委員や中国の南開大学、インドのジャワハルラル・ネルー大学の客員教授などを務めている。

### 第二部 神楽公演 14:20~

#### 宮崎・日之影神楽〈ひのかげかぐら〉

日之影町は、宮崎県最北山間部に位置し、町の約91%は森林です。その山間を五ヶ瀬川と日之影川が貫流し、深い渓谷が独特の大自然の美を織りなしています。平成18年には、全国初の森林セラピー基地として認定され、平成27年には本町を含む、高千穂郷・椎葉山地域が世界農業遺産に認定されています。このような地勢を背景に「日之影神楽」が現代に伝承されてきました。

「日之影神楽」とは、日之影町域に分布するすべての神楽の総称であり、「深角系」「岩井川系」「岩戸系」「四ヶ惣系」の四つの系統に分類されます。

現在、神楽の奉納は四季を通じて行われており、特に11月から2月にかけては、実りに対する感謝と五穀豊穡を祈願して、集落の神社から氏神様を神楽宿にお迎えして奉納されます。毎年4月には日之影町内神楽保存会員が一堂に会して、保存会相互の研修と、奉仕者(神楽を奉納する舞者)の資質向上を目的とした「日之影町神楽まつり」を開催しています。今年は、日之影町制施行65周年、神楽まつりも第30回となることから、11月12日(土)に記念大会として開催をします。

#### 大人神楽〈おおひとかぐら〉

大人神楽は、日之影町の中央部に位置する岩井川大人集落に伝承されています。神楽と共に宮崎県指定無形文化財「大人歌舞伎」(九州唯一の農村歌舞伎)を伝えるなど伝統文化に対する高い意識を持つ地域です。集落の鎮守である岩井川神社の大祭は小正月の1月14日から15日にかけて行われ、夜を徹して28番の神楽が奉納されます。

大人神楽は高千穂(岩戸)神楽の系統でありながら、激しい太鼓と荒々しい所作が特徴で、「あばれ神楽」とも称される数番の演目があります。岩井川神社の主祭神である菅原道真公が出現する天神様の舞、舞開で天照大神自身が出座する場面など高千穂神楽には見られない神楽を有している点において、独自の発展と継承が伺えます。県内200を超える神楽の中でもひと際異彩を放っている神楽といえます。



10/16日

國學院大學における  
宮崎県の神楽公演

FAX申込書

送信先 FAX.03-3456-5627

フリガナ	電話番号 ( )
お名前	FAX番号 ( )
〒 住所	
車いすの利用 いずれかを○で囲んでください	メール アドレス
<input type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない

希望枚数 (4名まで)	枚
同行者名を下記にご記入ください。	

#### 申込方法

公演名を必ず  
ご記入ください。

●先着順受付●  
定員に達し次第、  
締め切らせていただきます。

①公演(國學院公演) ②お名前(フリガナ) ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス又はFAX番号 ⑦車いすの利用有無 ⑧希望枚数(4名以内) ※複数枚の場合は同行者氏名を記載 以上の項目を明記の上、ハガキ・FAX・メールのいずれかでお申込ください。 ※申込者には入場整理券(1名につき1枚)を送付いたします。

ハガキの場合 〒105-0014 東京都港区芝3-15-14 吉徳ビル6F  
みやざき神楽東京公演2016事務局【幟スウィングマン内】  
 FAXの場合 FAX.03-3456-5627  
 メールの場合 E-mail: miyazaki\_kagura@swingman.jp

(個人情報について)  
ご記入いただいた個人情報は、  
本公演のご案内以外では利用いたしません。

お問い合わせ

みやざき神楽東京公演2016事務局 TEL.050-3636-6397